



東京

(第12面)

協測日 地理空間情報技術奨励賞  
東工大・篠原氏に

日本測量協会(日測協、清水英範会長)は、2021年の「測量・地理空間情報技術奨励賞」の受賞者として、「グローバルな特徴抽出とローカルな特徴抽出を組み合わせた Full Waveform LiDARデータに対するセマンティックセグメンテーション」を著した東京工業大学環境・社会理工学院建築学系の篠原崇之氏を選んだ。篠原氏の論文は、従来の航空レーザースカナ

ーと異なり連続的に波形を記録する「フルウェーブフォーム」で取得したデータに深層学習を適用するもの。

また、20年度に日測協で測量検定を受けた会社から、特に優れた測量成果のあった35社を「公共測量品質管理優秀賞」として表彰することを決めた。内訳は基準点が24社、地図が11社。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、表彰式は行わない。